

SS-Lecture 第1回講座

ここから始まる遺伝子リテラシー

～親も知らないDNAの扱い方～

令和元年6月1日(土) 前橋女子高等学校地学実験室

今年度最初のSS-Lectureとして、第1回講座が実施されました。

群馬大学理工学部から、講師として若松肇教授、TAとして3年生と4年生、4名の学部生をお招きして、遺伝子リテラシーに関する講義と実習を行いました。

内容は、遺伝情報がDNAの塩基配列によってもたらされていること、遺伝情報には4つの特徴があることなどの基礎的な知識について講義をしていただいた後、自分の頬の上皮細胞から、DNAを抽出する実験を行いました。

また事後学習として、「遺伝情報のメリット、デメリット」をテーマとした、遺伝子リテラシーに関する意見交換を行いました。参加者全員が、答のない、しかし今後考えていかなければならない重要なテーマについて、活発に意見交換を行っていました。

以下、参加した生徒の感想の抜粋です。

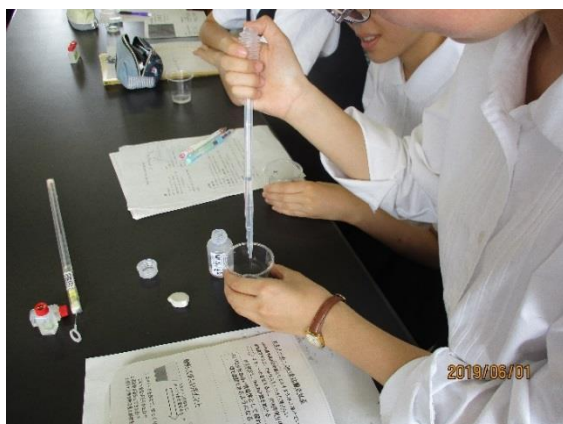
- ・遺伝情報についてのメリット、デメリットについて詳しく知ることができました。DNAが本当に簡単に抽出できたのには驚きました。この講座で分かったことを家族にも伝えて、遺伝情報について家族で考えてみたいと思いました。
- ・講座を通して、遺伝子の個人情報としての大切さや、医療に関する新しい技術について知ることができました。遺伝情報をどのように利用して病気やがんを治療していくのかも、とても興味深かったです。これからも遺伝情報の大切さを広めながら、少しでも病気やがんが減るようになってほしいと思いました。



遺伝情報についての講義



テーマをもとにした
事後の意見交換



頬の上皮細胞からDNA抽出



抽出されたDNA